

事務事業名		文化財調査研究事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業
政策体系	政策名	06: 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間	
	施策名	30: 地域文化の伝承と創造				
	基本事業名	01: 文化財の保存と活用			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 不詳 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令	文化財保護法			01 10 05 02 13		
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課			予算科目 会計 款 項 目 事業	
	係名	文化財係	電話	27-3111		
			内線	273		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・文化財の調査研究を行う事業。主な事業内容は次のとおりである。 ・国史跡内容確認調査(大洞貝塚市外保管出土資料の所在確認調査、下船渡貝塚出土資料の整理。埋蔵文化財調査員(嘱託)が主体的に行う)、埋蔵文化財緊急調査(開発に伴う記録保存。埋蔵文化財調査員(嘱託)が主体的に行う)、埋蔵文化財調査員(嘱託)の配置 ・事業費は、埋蔵文化財緊急調査等に支出される。					全体計画(期間限定複数年度のみ)	
					総投入量(千円)	事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 史跡の市外保管出土資料の所在確認、下船渡貝塚出土資料の整理、開発行為に伴う試掘調査、埋蔵文化財調査員(嘱託)1名の配置 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 史跡の市外保管出土資料の所在確認、下船渡貝塚出土資料の整理、市道改良に伴う田代遺跡発掘調査、個人住宅建設に伴う田代遺跡発掘調査、開発行為に伴う試掘調査、埋蔵文化財調査員(嘱託)1名の配置		名称	単位	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 埋蔵文化財等		ア	発掘調査(野外調査・室内整理)件数	件
		イ		
		ウ		
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・埋蔵文化財を記録保存(遺物、調査記録などを保存)する。 ・調査報告書を作成し、調査成果を公開する。		対象指標(対象の大きさを表す指標)		
		名称	単位	
		カ	埋蔵文化財数	箇所
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・保存・活用される。 ・次世代に継承される。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
		名称	単位	
		サ	発掘調査による出土遺物量	箱
		シ	発掘調査報告書を刊行した遺跡数	遺跡
		ス		

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円	2,000	1,600	0	0	1,250	2,500
		都道府県支出金	千円	1,000	576	0	0	450	900
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,182	1,115	345	415	1,011	1,600
		事業費計(A)	千円	4,182	3,291	345	415	2,711	5,000
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	3,075	2,550	2,550	2,550	2,550	2,550
		人件費計(B)	千円	12,300	10,200	10,200	10,200	10,200	10,200
		トータルコスト(A)+(B)	千円	16,482	13,491	10,545	10,615	12,911	15,200
活動指標	ア	件	3	2	0	0	1	4	
	イ								
	ウ								
対象指標	カ	箇所	184	184	184	184	184	184	
	キ								
	ク								
成果指標	サ	箱	26	0	0	0	20	20	
	シ	遺跡	2	2	0	0	1	3	
	ス								

事務事業ID	0848	事務事業名	文化財調査研究事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和25年文化財保護法の施行後、文化財の調査研究を行い、文化財の保護保存、普及活用に資するために始められた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・平成13年に三陸町と合併し、埋蔵文化財の件数が増えた。 ・埋蔵文化財保護に対する認識が、一般(行政、住民、開発を行う事業者など)に普及、浸透してきた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・埋蔵文化財の保護は、土地の開発行為を制限するので、不要であるという意見もある。 ・埋蔵文化財が所在すると、自分の土地でも自由に手がつけられない、何もできないなどの誤った認識が依然として残っている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] 埋蔵文化財等の調査研究を行い、その保護保存、普及活用が図られることは、地域文化の伝承と創造のもととなり、豊かな心を育む人づくりの推進に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 文化財保護法で、公共の関与が示されているため。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ・対象の埋蔵文化財は、発見された全てが法の規制をうけるので、変えることはできない。 ・意図を縮小すると、埋蔵文化財の適切な保護保存や成果公開ができなくなる。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 埋蔵文化財調査にあたる、専門的な知識・技術を有する調査員1名が嘱託であり、この業務を安定的かつ継続的に遂行する体制になっていない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 埋蔵文化財が保存されず、失われてしまう。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 博物館の調査研究事業においても、文化財を対象に含めた調査研究が行われている。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] 埋蔵文化財の発掘調査は、この事業のみで行っており、博物館の調査研究とは対象が重複していない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 対象となる埋蔵文化財の状況により、ケースバイケースで事業費が異なり、それを一概に削減すると、適正な調査研究ができなくなる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 一般事務職員2名(専任1名、兼任1名)、専門的知識・技術を有する職員1名(兼任)、嘱託職員1名(埋蔵文化財調査員)が他の文化財事業と並行して事務事業を行っており、これ以上の削減は事業の停滞を招く。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 埋蔵文化財の調査費用は、原因者負担が原則とされている。しかし、調査原因が個人住宅の建設に伴う場合は国県補助が認められ、これに市費を加えて行政が負担している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財調査研究事業には、専門的知識・技術を有する職員が必要であり、毎年、嘱託職員として1年任期で雇用しているが、その人材確保に苦慮している。平成19年度及び20年度は2名枠に対し適任者がおらず1名しか雇用できなかった。 埋蔵文化財発掘調査への県費補助が数年来減額されてきている。 平成20年度においては、野外調査・室内整理などの業務は無かったが、試掘調査が8件と例年より多かった。 																			
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</td> </tr> </table> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・専門的知識・技術を有する埋蔵文化財調査員の正規職員化を行い、事業遂行体制の安定を図る。</p>	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)					<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持																												
事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)																																
		コスト																														
		削減	維持	増加																												
成果	向上																															
	維持			×																												
	低下		×	×																												
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財調査にあたる、専門的な知識・技術を有する調査員2名が嘱託であり、この業務を安定的かつ継続的に遂行する体制になっていないので、正規職員として配置する。 埋蔵文化財の保存・公開を図るため、この事業を継続する必要がある。 埋蔵文化財の状況により、ケースバイケースで相応の事業費を調整していく。 																																

4 事務事業の2次評価結果

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)		
2次評価者	生涯学習課長	

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている) 		<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>文化財調査にあたる専門職員の配置が配置が必要である。</p>																					
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統合・連携</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</td> </tr> </table> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>継続して事務事業を実施する。文化財調査にあたる正規職員を雇用する。</p>	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)				
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 現状維持																			
事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)																							
<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
